

一般社団法人島根県臨床工学技士会

令和元年度 第6回理事会議事録

- 開催日時：令和元年11月16日（土） 午前10時00分
- 開催場所：LINE 会議
- 理事・監事の数および出席理事・監事の数並びにその出席方法
 - (1) 理事の数 12名、監事の数 2名
 - (2) 出席理事の数 8名、出席監事の数 0名
- 出席理事の氏名 福田 勇司、藤松 祐輔、秋國意知子、明徳 一広、福島 成文、
宅江 呂剛、澄川 隆、宇津井利奈、
- 議長の氏名 福田 勇司

(議案)

1. 第9回中四国臨床工学会についての件

議長は、本件について藤松理事に説明させた。
参加スタッフを対象に大会の振り返りアンケートを実施した。
各担当によって、良かった点や改善点などが多く挙げられた。
特に受付方法と大会 HP 掲載内容の周知については、次回開催県である鳥取県へ詳細を伝えることとなった。(詳細については別紙資料参照)
議長は、会計について福島理事に説明させた。
作成された収支決算報告書の内容について、事前に松江市へ申請した時との科目表記に相違があるため修正して再度理事へ報告することになった。
収支決算報告書が理事に承認されたあと、松江市へ補助金申請することになった。

2. 中四国臨床工学技士会連絡協議会の件

議長は、本件について説明した。
日本臨床工学技士会理事長表彰および理事長選任について各施設代表宛にメールをした。締め切り日(15日)を過ぎたがどの施設からも申し出がなかったため週明けに再度確認をし今年度の島根県からの対象者は無しと報告する。
連盟の役員改定については、島根県の連盟担当理事である錦織理事と相談し対応することになった。

3. 教育担当より報告の件

議長は、本件について明徳理事に説明させた。
11月24日に開催される第2回山陰合同セミナーについて参加の促しがあった。

現時点の島根県の参加予定人数は10名程度であり40名は参加してほしい。

第3回島根県臨床工学技士会学術大会についての進行状況（演題募集、特別講演講師）の説明があった。（開催場所と詳細については事前提出資料を参照）

今年度の残りの企画内容について報告があった。

4. 広報より報告の件

議長は、本件について澄川理事に説明させた。

会誌の発行は、配布した資料の内容でおこなう。各担当理事は、期限厳守で原稿（開催日、人数、内容）の提出をお願いした。

5. Yボードおよび会計報告についての件

議長は、本件について福島理事に説明させた。

11月2～3日に開催された出雲産業未来博 2019年の参加状況および決算書について報告があった。

出展ブースに600名を超える来場があり、参加した子供達からも高評価であった。

次回参加する場合は、展示する内容にもよるが2ブース（無料）借りたほうが良いのではないかという意見があった。今回残ったキャラクターグッズ（ティッシュおよびガム）は体験イベントで使用することになった。

年会費の未登録者は、1名となった。未登録者については、個別に再度促しをおこなっていく。

6. 事務局からの報告の件

議長は、本件について錦織理事の代わりに説明した。

現在の会員数は、正会員数：165名、賛助会員：24社、連盟会員数：52名である。

HPの更新については異論がなかったため了承された。

7. 2019年度透析災害ネットワークアンケートについての件

議長は、本件について秋國理事に説明させた

アンケート回収率は70%程度であった。アンケートで頂いた意見を参考にして次年度は対応していきたい。

また、アンケート結果を島根県透析医会へも報告し、ネットワークの円滑な運営と構築に協力して頂く。

8. イベント開催に使用する物品についての件

議長は、本件について説明した。

イベントに参加および主催するときに、統一したジャンパーがあった方が良いのでは

ないかと提案をした。物品の管理や他人との共有などを考えると難しいのではないかと
いう意見があった。団体を PR するにあたってはノボリ（旗）のほうが良いのではないかと
という意見もあり再度金額を含めて検討することになった。

9. 次回理事会

次回理事会は2月を予定。 但し、議題があればそれまでに Web 会議をおこなう。

議長は、以上をもって本日の議案審議を終了した旨を述べ、午前11時00分閉会した。
以上の決議を明確にするため、この議事録をつくり、出席理事及び監事がこれに記名押印する。

令和元年11月16日

一般社団法人島根県臨床工学技士会 令和元年度 第6回理事会

議長理事 福田 勇 司

理 事 藤 松 祐 輔

理 事 秋 國 意知子

理 事 明 穂 一 広

理 事 宅 江 呂 剛

理 事 福 島 成 文

理 事 宇津井 利 奈

理 事 澄 川 隆